

●正副議長と議会運営委員長は、慣例で、一般質問を行わないこととしています



←質問者の発言の  
題目はこちら

## 一 般 質 問 を 行 っ た 議 員 で す ( 発 言 順 )

|       |       |       |       |
|-------|-------|-------|-------|
| 6月11日 | 6月10日 | 6月9日  | 6月8日  |
| 星野直美  | 鈴木月平  | 立川安之  | 長谷川順子 |
| 小島翔平  | 望月翔平  | 川村奈緒美 | 森川克彦  |
| 山本貴士  | 内田由香  | 及川賢一  | 森重喜正  |
| 古里幸太郎 | 浜野正太  | 金子垂希  | 村松宏和  |
| 富永純志  | 綿田ともみ | 岸井博美  | 石井彩加  |
| 日下部広志 | 九鬼ともみ | 久保博美  | 玉石彩加  |

### 桑都の杜への 移動の手段は

問 10月に開設する桑都の杜<sup>※1</sup>へのアクセスにおいて、八王子駅南口周辺道路は高低差があるなど、来場者が移動する際の負担が懸念される。利便性向上に向けた自動運転バスの検討状況を聞きたい。

答 先端技術を有する市内の大学と連携し、八王子駅南口と桑都の杜を結ぶ道路において、スクールバスを活用した定員13人の自動運転バスの実証運行を予定している。



写真提供：東京工科大学

桑都の杜への移動手段として自動運転バスを活用（イメージ）

問 大型イベント開催時など、定員13人のバスだけでは混雑に対応できない場合も想定されるが、市の考えは。

答 多くの来場者が見込まれるイベント開催時は、交通事業者とバスの増便について協議するとともに、イベント運営者とも連携を図り、適切な交通対策を講じることで、来場しやすい環境の確保に努めていく。

### はちバス再編の 取り組みは

問 はちバスのルートを再編し、10月から実証運行を実施することである。現在の4ルートでの運行を終了し、10ルートに拡大する一方で、運行日を週3日に変更する理由は。



答 高齢者や交通弱者の日常的な移動手段確保の観点から、地域の実情や財政状況を踏まえ、運行のあり方について検討を行ってきた。その結果、運転手不足をはじめ、社会環境の変化にも適切に対応し、将来にわたり持続可能な運行を確保するため、週3日の運行とした。

問 運行の確保や運転手不足に対応するためには、これまで以上に予算の確保が必要

と考えるがどうか。

答 はちバスは、市民にとって重要なインフラであると認識している。3年間の実証運行の状況を踏まえ、利用者や運行事業者等からの意見を総合的に判断した上で予算編成を行い、はちバス事業を展開していく。

### 環 境

### 水辺のまちづくりの 取り組みは

問 4年度から実施している八王子水辺活動チャレンジ「ミズカツ」の取り組みについて聞きたい。

答 地域住民や事業者との協働により、市内の豊かな水辺の魅力をいかし、新たな憩いとにぎわいの場を提供する持続可能な水辺のまちづくりの実証実験を進めてきた。市内3カ所の水辺で行った実証実験の結果を踏まえ、6年度からは実施場所を南浅川地域に絞り、取り組んでいる。

問 「ミズカツ」を通じて、住民の理解等も進んでいると考えるが、現在の状況は。

答 南浅川地域では、地域住民や事業者等が自立的に水



水辺を憩いとにぎわいの場として提供する「ミズカツ」の取り組み

辺活用を行う陵南水辺活用協議会を設立した。水辺を地域のまちづくりの活性化に寄与する空間として提供することで、恒常的なにぎわい創出を実現できると考えている。

### 地下水調査の 積極的な対応を

問 7年度に市内の20ブロックで実施した地下水調査の結果では、一つのブロック内の井戸において、PFOA<sup>※2</sup>・PFOS<sup>※2</sup>の値を超過したとのことだが、今後どのような調査を行っていくのか。

答 国の指針値を超過した井戸については、年1回の継続モニタリングを実施する。また、引き続き20ブロックでの調査も継続することにより、地下水の水質情報を収集していく。

※1公園・ライブラリ・ミュージアム・交流スペースが一体となった複合機能施設の愛称

※2P F A S（ピーファス）と総称される有機フッ素化合物の一種で、自然界で分解しにくく、水などに蓄積することがわかっている